

愛知県 水田有機農業省力化推進事業

水田(V直栽培)における農薬を使わない除草・抑草技術の研究開発を
県農業総合試験場と共同で行う企業や研究機関等を募集します!

公募期間：5月2日～6月28日

公募内容

水稻栽培の有機農業の取組拡大に向けて、愛知県で普及している不耕起V溝直播栽培において、農薬を使わない除草・抑草技術（ロボット、アタッチメント、物理的防除、新規資材など）の開発を、愛知県農業総合試験場との共同研究により実施する事業者を募集します。

(1) スマート有機農業技術の開発（プロトタイプ作成まで）

- ① 乾田期間の除草・抑草技術
- ② 湛水期間の除草・抑草技術
- ③ ①と②の両方に適用できる技術

1つを
選択

詳しい内容は裏面に!

(2) プロトタイプによる実証試験の実施

(3) 研究開発計画の作成

公募条件

委託研究費 (研究開発に係る経費)	1,000万円 (限度額)
選定予定件数	2件 (内容・金額により増減 する場合があります)
応募資格	企業、大学、研究機関等 共同提案・複数提案も可能
募集期間	2024年5月2日 ～6月28日
契約期間	契約後、2025年3月21 日まで

公募説明会

5月16日

(参加申込：～5/13)

県庁 及び オンライン
で開催!

関心のある方はぜひ
ご連絡ください!

現地見学会

第1回 **5月22日**

第2回 **6月14日**

農総試で開催!

ぜひ現地でV直栽培を
ご確認ください!

募集要項・応募様式

募集要項や、説明会・見学会の詳しい内容については、以下をご覧ください!

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/suidenyuuki.html>



愛知県農業水産局農政部農業経営課
お問合せ先 農業イノベーション推進室 イノベーション推進グループ (伊藤)
電話：052-954-6413
メール：nogyo-innovation@pref.aichi.lg.jp

不耕起V溝直播栽培の特徴

- 1994年に愛知県が開発した水稲乾田直播栽培方法（通称：V直栽培）。
- 前作収穫後、春までのうちに耕起・整地（浅耕鎮圧または代かき等）を行い、ほ場を均平にして乾かす。
- 2月以降に専用の播種機により、乾田状態の田面にV字型の溝を付けながら深さ5cmの位置に播種する。
- 専用の肥効調節型肥料(全量基肥)を種もみと同時に播く。

- 雑草防除は基本的に除草剤を3回散布。
①水稲出芽前、②入水前、③入水後

これに代わる、農薬を使わない除草技術を開発

- 中干しは不要。収穫間近まで湛水状態を維持。



不耕起V溝播種機



出芽後、本葉2葉期に入水



除草剤散布の様子（入水前）



雑草管理に失敗した水田の様子

提案募集する技術開発の内容（例）

- ★ トラクターに着用するアタッチメント開発（乾田期）



V直適用型モア、ブラシ除草

- ★ 雑草を認識し物理的に防除



詳しい募集内容（仕様書）はこちら→



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/no-gyo-keiei/suidenyuuki.html>

- ★ 本田除草ロボット（湛水期）



これらの例に限らず、さまざまな技術開発の提案を募集します。
（県農総試との共同研究）

V溝直播栽培についてはこちら→



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/no-gyo-keiei/v-choku.html>